

A—32 血清および組織のトリグリセリド 測定法の検討(第2報)

実践女大家政 石 沢 久

1. 血清および組織のトリグリセリド(以下 TG と略記)は栄養的にも興味が多い研究対象であるが、TG の測定は複雑であるため、日常の検査項目には加えられていない。私は昨年本学会において TG 測定法(吸着法を用いる直接法)を発表したが、その後本法に適する吸着剤を選択するため検討を続けた。

2. 血清および組織のイソプロピルアルコール抽出液にゼオライト、フロリジル、骨炭末を主体とした混合吸着剤を加えリン脂質と糖を除去してケン化後遊離したグリセリンを酸化し、生じたフォルムアルデヒドに Hantsch の反応を応用して比色定量する。

3. 本法に適した吸着剤としてゼオライト(170~200 mesh)とフロリジルの等分混合吸着剤に骨炭末を 1/5 の割合に混合したものを用いた。その他呈色試薬についても検討し、かつ本法で再現性良好な測定値をえるための条件を検討した。